

タルラタマブ投与によるサイトカイン放出症候群に関する調査

1. 研究の対象

2025年5月以降に当院でタルラタマブによる治療を受けられた小細胞肺がんの患者さま

2. 研究の概要

タルラタマブは、2024年12月に承認された小細胞肺癌(SCLC)に対する初の BiTE(Bispecific T-cell Engager)分子製剤で、治療抵抗性SCLCに対する新たな治療選択肢として期待されています。

国際共同第2相試験(DeLLphi-301試験)において、タルラタマブ投与によりサイトカイン放出症候群(CRS)が高頻度で出現することが報告されています。本調査は、実臨床においてタルラタマブの特性を理解し、適切な副作用マネジメントを行ううえで有意義なものなりうると考え、企画しました。

研究期間:総長の研究実施許可日～2026年3月31日(予定)

研究目的:タルラタマブの副作用(サイトカイン放出症候群)の実態調査

研究方法:研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査を行い、サイトカイン放出症候群の発現状況、対症療法等の検討を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報:性別、年齢、病歴、抗がん剤の治療歴、副作用等の発生状況、採血データ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 薬局 大迫 宏樹(研究責任者)

住所:〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話:06-6945-1181

-----以上